

- 1 奈良時代の九州地方に派遣され、防衛の任務についた兵士を何という？
① 屯田兵 ② 衛士 ③ 健児 ④ 防人 ☐ ☐
- 2 『日本書紀』で、神代から歴史が記録されている最後の天皇は誰？
① 元明天皇 ② 推古天皇 ③ 称徳天皇 ④ 持統天皇 ☐ ☐
- 3 奈良時代末期に編纂された、現存する日本最古の歌集を何という？
① 万葉集 ② 古今和歌集 ③ 懷風藻 ④ 新古今和歌集 ☐ ☐
- 4 唐の長安を模して造られ、奈良時代に都が置かれた場所を何という？
① 平城京 ② 藤原京 ③ 長岡京 ④ 平安京 ☐ ☐
- 5 奈良時代に、中国の制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？
① 遣新羅使 ② 遣隋使 ③ 遣明使 ④ 遣唐使 ☐ ☐
- 6 遣唐使の船が日本から中国へ向かう際、多くの遭難者を出した荒れる海域を何という？
① 瀬戸内海 ② 日本海 ③ 太平洋 ④ 東シナ海 ☐ ☐
- 7 シルクロードを経て伝わった宝物や唐の工芸品が収められ、現在も東大寺にある施設は何という？
① 東大寺 ② 大安寺 ③ 興福寺 ④ 正倉院 ☐ ☐
- 8 743年に発令され、新しく開墾した土地の永代私有を認めることで、土地の私有化を推進した法律を何という？
① 三世一身法 ② 墾田永年私財法 ③ 大化の改新 ④ 大宝律令 ☐ ☐
- 9 奈良時代、租庸調の税を納める際に、荷物の内容や送り主などを記すために使われた木製の札は何という？
① 戸籍 ② 木簡 ③ 正税帳 ④ 計帳 ☐ ☐
- 10 律令制度において、神祇官と共に二官の一つとして行政の統括を担った機関を何という？
① 神祇官 ② 検非違使 ③ 弾正台 ④ 太政官 ☐ ☐
- 11 奈良時代、仏教の影響を強く受けた国際色豊かな文化を栄えさせた天皇は誰？
① 光仁天皇 ② 称徳天皇 ③ 聖武天皇 ④ 元明天皇 ☐ ☐
- 12 律令制において、中央から派遣された国司のもとで、現地の有力な豪族が任命された役職を何という？
① 郡司 ② 惣領 ③ 国司 ④ 里長 ☐ ☐
- 13 奈良時代の正倉院に収められている工芸品のもとになった、ユーラシア大陸を横断する交易路を何という？
① シルクロード ② 海上の道 ③ 塩の道 ④ 茶の道 ☐ ☐
- 14 710年、現在の奈良県に建設され、奈良時代の政治の中心となった都を何という？
① 藤原京 ② 平城京 ③ 長岡京 ④ 平安京 ☐ ☐
- 15 奈良時代、仏教の力によって国を災いから守ろうとする思想を何という？
① 仏国土思想 ② 鎮護国家 ③ 神国思想 ④ 王権神授説 ☐ ☐
- 16 令制国に派遣され、徴税や裁判といった地方の行政を担った官吏を何という？
① 郡司 ② 里長 ③ 防人 ④ 国司 ☐ ☐



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	防人 は、大和朝廷が九州地方の防衛のために配置した兵士です。		4 防人	☐
2	神話の時代から始まり、 持統天皇 の時代までの歴史を詳細に記しています。		4 持統天皇	☐
3	万葉集 は、奈良時代末期に大伴家持らによってまとめられたと言われる、日本最古の和歌集です。		1 万葉集	☐
4	710年に飛鳥から遷都された 平城京 は、当時の中国である唐の都・長安を模して作られました。		1 平城京	☐
5	遣唐使 は、7世紀から9世紀にかけて、日本が唐へ派遣した公式の使節団です。		4 遣唐使	☐
6	東シナ海 は波が荒く、また気象観測技術も未熟だったため、渡航は命がけの作業でした。		4 東シナ海	☐
7	聖武天皇が亡くなった際、光明皇后が天皇をしのいで東大寺に奉納した品々を収めた校倉造りの建物です。		4 正倉院	☐
8	743年に制定された 墾田永年私財法 は、新しく開墾した土地を一定の条件のもとで永久に私有することを認めた制度です。		2 墾田永年私財法	☐
9	木簡 は主に松や杉などの板を薄く削って作られ、墨で文字が書かれました。		2 木簡	☐
10	太政官 は、八省を統括し、国政の運営を担当する最高機関です。		4 太政官	☐
11	聖武天皇 は熱心な仏教徒で、仏教による国の守り（鎮護国家）を理想としました。		3 聖武天皇	☐
12	「 郡司 」は、地方の行政単位である郡の実務責任者です。		1 郡司	☐
13	シルクロード は「絹の道」とも呼ばれ、中国から中央アジアを経て地中海世界へとつながる壮大なルートです。		1 シルクロード	☐
14	710年に元明天皇によって遷都された計画都市です。		2 平城京	☐
15	鎮護国家 とは、仏教の加護によって国を安定させ、平和を守ろうとする思想です。		2 鎮護国家	☐
16	国司 は、国府を拠点として、租庸調の徴収や公共事業、裁判など地方における行政実務を一手に担いました。		4 国司	☐

言えなかった用語ノート